

2023年3月期

第2四半期 決算説明資料



カーリットホールディングス株式会社

CODE : 4275

2023年3月期
第2四半期 決算概要

取締役兼執行役員 谷内 俊文

(単位：百万円)	2022年3月期 第2四半期 実績	2023年3月期 第2四半期 実績	差異 増減率
	売上高	16,006	17,586
売上原価	11,983	13,433	+1,450 +12.1%
販売費及び一般管理費	2,984	3,047	+63 △2.1%
営業利益	1,039	1,104	+65 +6.3%
経常利益	1,137	1,287	+149 +13.2%
純利益	1,020	951	△69 △6.8%

負ののれん暫定値 +209

投資有価証券売却益 +88

	売上高			営業利益		
	2022年3月期 第2四半期 実績	2023年3月期 第2四半期 実績	差異	2022年3月期 第2四半期 実績	2023年3月期 第2四半期 実績	差異
(単位：百万円)						
化学品	8,192	8,816	+623	549	571	+22
ボトリング	2,176	2,248	+72	15	△71	△87
産業用部材	4,522	4,930	+407	288	412	+124
エンジニアリング サービス	1,434	1,879	+444	194	264	+69
報告セグメント計	16,326	17,874	+1,548	1,048	1,177	+129
連結合計	16,006	17,586	+1,579	1,039	1,104	+65

【化学品事業部門】

産業用爆薬	↘	不採算製造拠点の撤退等で減収、原材料価格の高騰で減益
自動車用緊急保安炎筒	↘	新車・車検向けとも増収、原材料価格の高騰などで減益
高速道路用信号焰管	↗	交通量の回復を受けた需要の増加、適正価格の維持で増収増益
煙火関連	↗	花火大会の一部再開で増収増益
宇宙産業関連	—	民間小型ロケット向け固体推進薬の開発を顧客と共同で進行中 初号機打ち上げに向け、年度内に納入完了予定
受託評価試験	↘	電池開発の活況継続で増収となった一方、電力価格の高騰などで減益
塩素酸ナトリウム	↗	適正価格の維持による増収、運送効率の改善で増益
亜塩素酸ナトリウム	↘	除菌・漂白用途などの需要減少で減収減益
過塩素酸アンモニウム	↘	防衛用途の受注時期の変動で減収、原材料価格・エネルギーコストの高騰で減益
電極関連	↗	適正価格の維持、水電解用途を中心に需要が増加したことで増収増益
過塩素酸	↗	適正価格の維持、需要の増加で増収増益
電子材料関連	↘	パソコン向け受注が落ち着き、半導体・部品の供給や中国市場の停滞、原材料価格・エネルギーコストの高騰の影響で減収減益
機能材料関連	↘	中国市場の停滞や顧客製品の原料変更などの影響を受けた一方、適正価格の維持で増収。利益面では原材料価格・エネルギーコストの高騰の影響で減益
セラミック材料	↗	適正価格の維持、新規拡販で増収増益

【ボトリング事業部門】

ペットボトル飲料	↘	需要の回復で増収、エネルギーコストの高騰で減益
缶飲料	↘	自販機向けコーヒーの販売減少で減収減益
委託品	↗	新規品の受注などで増収増益

【産業用部材事業部門】

シリコンウェーハ	↗	半導体の需要拡大傾向の継続で増収増益 各種センサー・マイクロフォン等に使用されるMEMS（微小電気機械システム）およびTC-SAWフィルター向けの高平坦度ウェーハを始めとする高付加価値製品の開発・販売に注力
耐熱炉内用金物	↗	都市ごみ焼却向けを中心に、主要製品であるアンカー・リテーナとも好調で増収増益
各種金属スプリング およびプレス品	↗	自動車向けは減産の影響で減収の一方、建機向けの好調と適正価格の維持で増収増益

【エンジニアリングサービス事業部門】

建築・設備工事	↘	南澤建設の新規連結寄与で増収の一方、収益性の高い案件の減少で減益
塗料販売・塗装工事	↗	市場環境の好調と新規拡販で増収増益
構造設計	↗	受注時期の変動で減収の一方、収益性の高いサービスの好調で増益

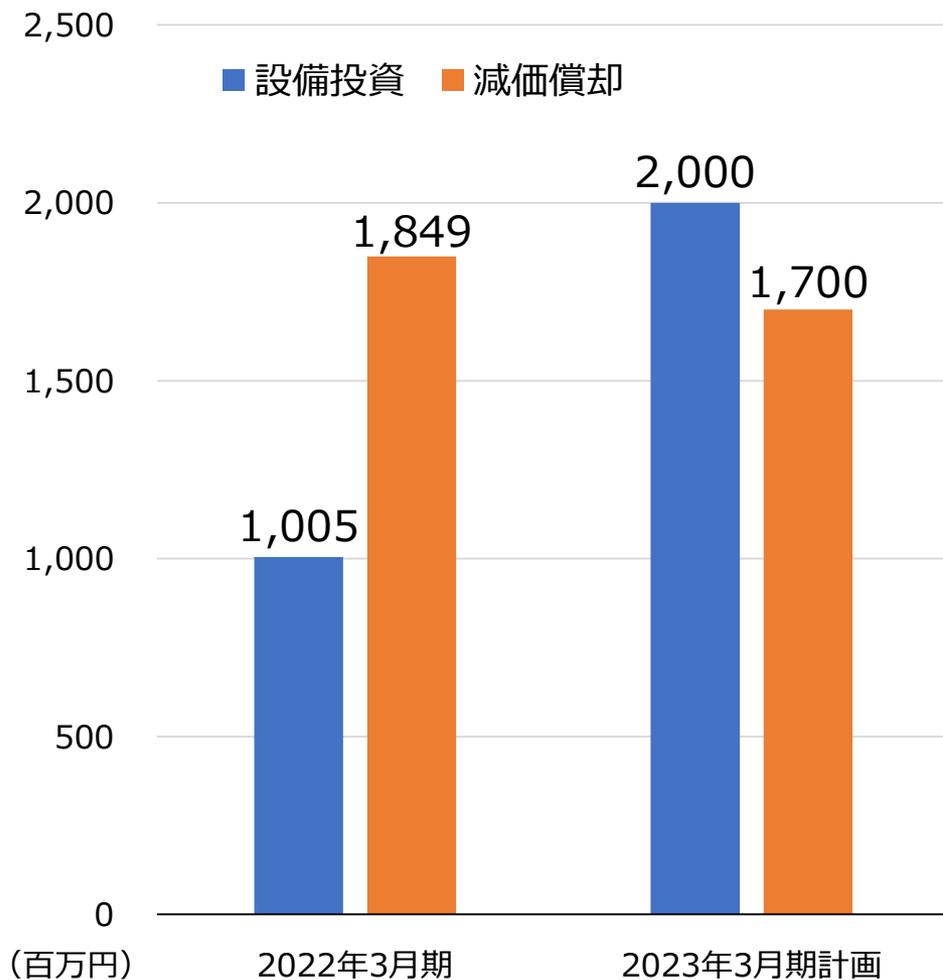
2023年3月期 通期見通し

代表取締役社長 金子 洋文

	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期予想	差 異	増減率
(単位：百万円)				
売上高	33,894	35,000	+1,106	+3.3%
営業利益	2,506	2,500	△6	△0.3%
経常利益	2,742	2,700	△42	△1.6%
当期純利益	2,336	1,900	△436	△18.7%
期末配当 (1株当たり)	16円	16円	—	—

(単位：百万円)	売上高			営業利益		
	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期計画	差 異	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期計画	差 異
化学品	16,950	18,300	+1,350	1,172	1,200	+28
ボトリング	4,360	4,480	+120	218	200	△18
産業用部材	9,313	9,520	+207	654	740	+86
エンジニアリングサービス	4,173	4,340	+167	892	580	△312
報告セグメント計	34,798	36,640	+1,842	2,937	2,720	△217
連結合計	33,894	35,000	+1,106	2,506	2,500	△6

<p>化学品</p>	<p>原材料価格・エネルギーコストの高騰の影響が大きいものの、適正価格の維持により増収増益 中国市場をはじめとする、海外需要が懸念材料 全製品群における売上拡大が重要だが、特に電子材料需要の回復が鍵</p>
<p>ボトリング</p>	<p>コロナ規制の緩和による需要回復により増収となるものの、 エネルギーコストの高騰の影響が大きく減益 コスト高騰分の適正価格の維持が課題</p>
<p>産業用部材</p>	<p>半導体用シリコンウェーハを始め、各製品群の需要が伸長し増益 シリコンウェーハの海外需要（中国等）減少が懸念材料だが、好調維持を期待</p>
<p>エンジニアリング サービス</p>	<p>塗料販売・塗装工事、建築・設備工事において、前期は高収益案件が複数あったものの、 今期はスポット案件がなく減益 特殊要因を除けば、今期は売上高・営業利益とも堅調に推移</p>



設備投資計画

化学品	研究開発投資や老朽化更新を主体に 900~1,000百万円
ボトリング	老朽化更新を主体に30~40百万円
産業用部材	半導体用シリコンウェーハ新規設備、 金属部品製造設備、老朽化更新により、 750~850百万円
エンジニアリング サービス	塗装工事用新規設備などにより、 約30百万円

【2030年のありたい姿】

持続可能な社会に貢献するために、“化学”と“技術”の力を合わせ、人びとの幸せな暮らしを支えたい

Challenge 2024

【経営方針】

事業ポートフォリオの最適化により企業価値の向上を目指す

【5つの戦略】



- 次期中期経営計画に向けた基盤強化
 - ・設備投資の推進
 - ・生産・販売体制の整備・強化

- 統合報告書「カーリットレポート2022」
<https://www.carlithd.co.jp/csr/report.html>

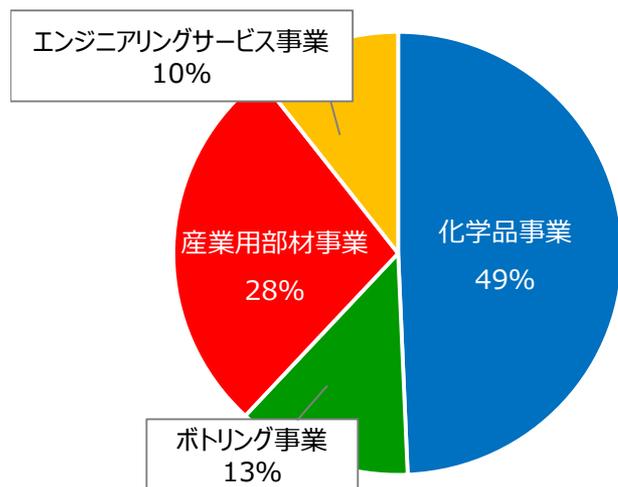


IRに関するお問合せ先：
カーリットホールディングス株式会社
広報・サステナビリティ推進部
メール：pr@carlit.co.jp

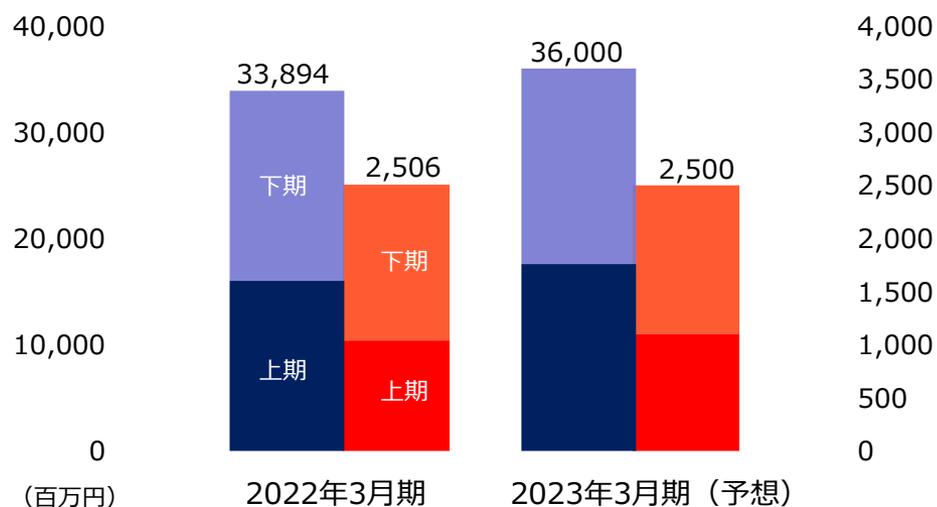
本資料は当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては断りのない場合は2022年9月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

本 社	東京都中央区京橋一丁目17番10号	代表者	代表取締役社長 金子 洋文
創 業	1918年	設 立	2013年10月 1日
資本金	2,099,530,000円	従業員数	1,095名 (連結)
発行済株式数	24,050,000株 (1 単元100株)	単元株主数	25,845名

<2023年3月期第2四半期 売上高構成比>



<売上高・営業利益推移>



(単位：百万円)

	2022年 3月31日	2022年 9月30日	差 異		2022年 3月31日	2022年 9月30日	差 異
資産の部				負債の部			
現金及び預金	3,768	5,122	1,353	支払手形及び買掛金	6,217	5,284	△933
受取手形、売掛金 及び契約資産	10,145	9,831	△314	有利子負債	4,386	5,667	1,280
棚卸資産	4,772	5,336	564	その他負債	8,570	8,697	127
その他流動資産	2,098	2,223	124	負債合計	19,174	19,650	475
有形固定資産	19,361	18,856	△505	純資産の部			
無形固定資産	96	90	△6	株主資本	26,634	27,205	570
投資その他の資産	9,834	9,737	△97	その他の包括利益 累計額等合計	4,269	4,341	72
				純資産合計	30,903	31,547	643
資産合計	50,078	51,197	1,119	負債純資産合計	50,078	51,197	1,119

(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,889	642
投資活動によるキャッシュ・フロー	△687	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,193	770
現金及び現金同等物の増減額	15	1,374
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,511	4,964